

資料1

市立小・中・義務教育学校における 不登校総合対策について

令和5年（2023年）5月31日

総合教育会議

学校教育部

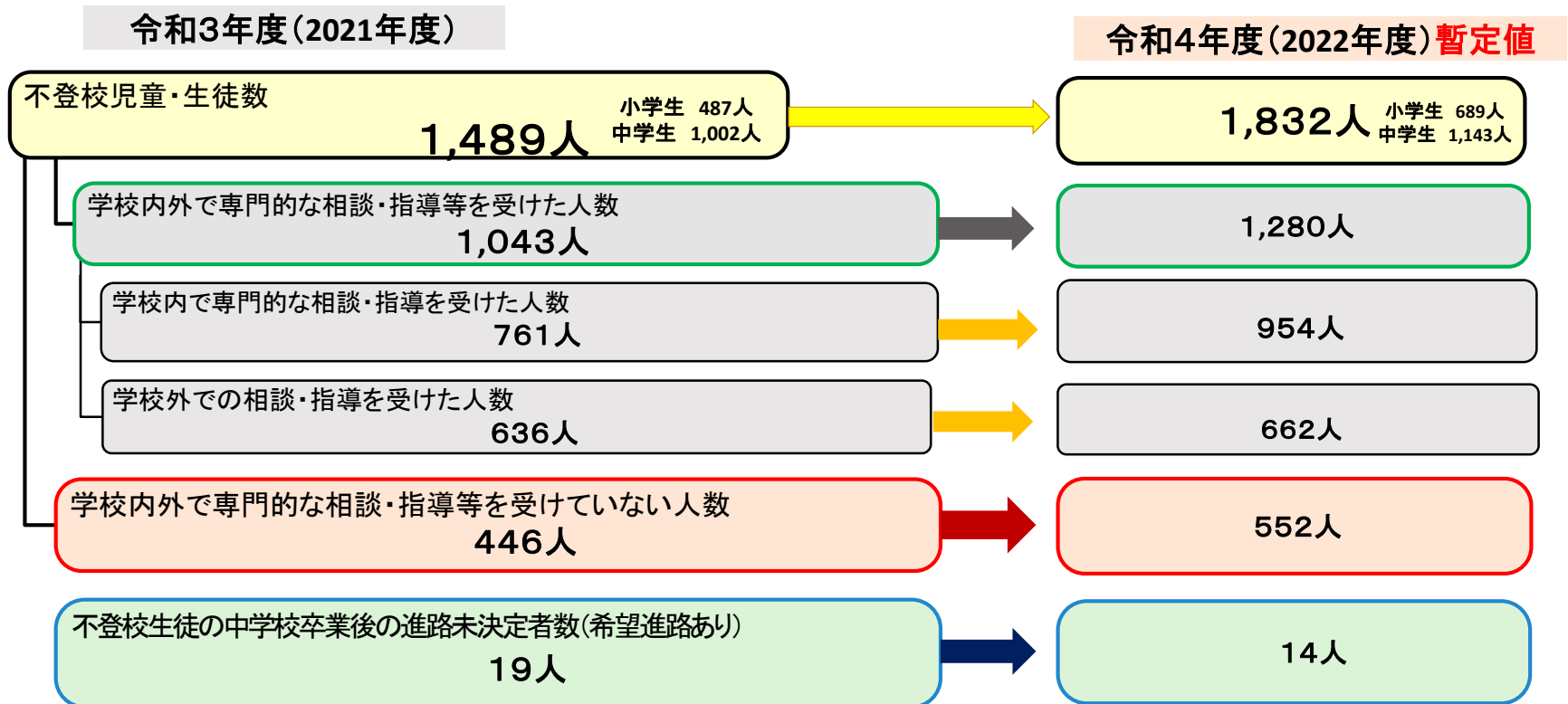
1 報告趣旨

全ての子どもたちの社会的自立に向けた教育機会の確保に向け、本市の不登校対策を取りまとめた新たな総合対策を策定するため、その概要について説明する。

2 現状

市立小・中・義務教育学校における不登校の現状(令和3年度と令和4年度の比較)

「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」等各種調査より



3 協議内容

(1)「不登校総合対策」の概要

ア. 位置づけ

第3次八王子市教育振興基本計画
ビジョン八王子の教育 9 登校支援の充実

文部科学省「COCOLOプラン」策定
「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校総合対策について」
令和5年3月31日、文部科学省通知

みんなが八王子の宝だよ

施策展開

本市においての対応はまさに喫緊の課題
できるところから対応しつつも、
総合的・計画的な対策が必要

市立小・中・義務教育学校における不登校総合対策

「つながるプラン」

イ. 名称 「つながるプラン」

ウ. 重点取組期間

令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度) 5か年

エ. 目標

【達成目標1】学校内外での専門的な相談・指導等を受けていない不登校児童・生徒「0」

【達成目標2】中学校卒業後の進路未決定(希望進路あり)の不登校生徒「0」

(参考) 文部科学省「COCOLOプラン」

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について」 令和5年（2023年）3月31日、文部科学省通知

小・中・高の不登校が約30万人に急増。90日以上の不登校であるにもかかわらず、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けられていない小・中学生が4.6万人に。
⇒不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにすることを目指す

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
 - ・不登校特例校の設置を促進
 - ・校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）の設置を促進
 - ・多様な学びの場、居場所を確保 等
2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
 - ・1人1台端末を活用し、心や体調の変化の早期発見を推進
 - ・「チーム学校」による早期支援を推進
 - ・一人で悩みを抱え込まないよう保護者を支援
3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする
 - ・学校風土を「見える化」
 - ・学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」を改善
 - ・いじめ等の問題行動に対しては毅然とした対応を徹底
 - ・快適で温かみのある学校としての環境整備
 - ・障害や国籍言語等の違いに関わらず、色々な個性や意見を認め合う共生社会を学ぶ場に 等

3 協議内容

(2) 「つながるプラン」めざす姿と主な取組

1 学びがつながる～魅力ある学校づくり～

「みんなが安心して豊かな生活を送る学校づくりをとおして、学びの継続性を保障します。」

2 支援がつながる～支援ニーズの早期把握と組織的対応～

「一人ひとりの不登校児童・生徒の状況と支援ニーズを組織的かつ的確に把握し、最適な相談・指導につなぎます。」

3 社会とつながる～多様な教育機会・居場所の確保～

「学校外の居場所や学びのネットワークにより、様々な支援ニーズをもつ不登校児童・生徒が社会とつながる機会を確保します。」

4 未来につながる～社会的自立をめざした中・長期的支援～

「不登校の子どもや保護者の『将来不安』に寄り添い、義務教育修了時の進路選択を最後まで支援します。」

(3) 「つながるプラン」の支援イメージ

学びがつながる 支援がつながる 社会とつながる 未来につながる

参考イメージ:市立小・中・義務教育学校における不登校総合対策「つながるプラン」

